

## 展示情報

### 「猛禽～タカ・フクロウ・ハヤブサ～」開催中！

鳥の博物館では、企画展「猛禽～タカ・フクロウ・ハヤブサ～」を開催中です。一般に猛禽類と呼ばれるタカ・フクロウ・ハヤブサは分類上の一つのグループではなく、それぞれ独立に進化をとげた別のグループです。骨やはく製をじっくり観察することで、獲物を捕らえることに特化した狩人としての生態や、体のつくりの秘密を知ることができます。

本企画展では3Dプリンターで作成した猛禽類の足模型や常設展示では公開していない翼と骨格の標本なども多数展示しています。ぜひ、ご来館ください。

展示期間：2023年7月15日(土)～11月5日(日)

展示している標本の3Dデータは  
ここからご覧いただけます→



企画展ポスター

## お知らせ

### 鳥の博物館長期休館のお知らせ

鳥の博物館は、受変電・給排水施設とエレベーターの更新工事を行うため、下記の期間、休館します。

なお、自然観察会「てがたん」、「あびこ自然観察隊」、オンラインによる「鳥のサイエンストーク」は休館中も実施します。

休館期間：2023年11月6日(月)～2024年3月31日(日) (予定)



## 利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分  
(最終入館午後4時)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、  
年末年始(12/29～1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	500円	
	高校生・大学生	400円	

- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(介助者1名まで)
- ・入館料免除の対象の方は証明できるものをご提示ください
- ・中学生以下は入館無料

\*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館  
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3  
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639

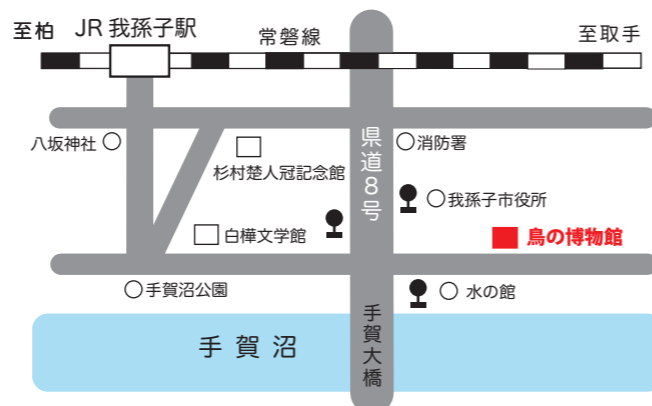


## 交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由  
バスで「市役所」下車、徒歩5分

天王台駅北口バス停より、アイバスで「水の館前」下車

自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



表紙の鳥：ミサゴ(撮影者：幕田利昭さん)

# あびこ鳥だより

2023  
No.2

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.64



- ・特集「コロナ禍での鳥博の活動～今書き残しておきたい～」
- ・手賀沼の鳥類調査結果
- ・展示情報「猛禽～タカ・フクロウ・ハヤブサ～」開催中！
- ・鳥の博物館長期休館のお知らせ

表紙の鳥 ミサゴ



「コロナ禍での鳥博の活動～今書き残しておきたい～」  
休館中、鳥博は何してた？

当たり前のように過ごしていた日常が一変した2020年初春。新型コロナウイルス（以下コロナ）感染症の感染拡大が懸念され始めた時のことをみなさんは覚えていますか。国内で最初に感染者が確認されたのが1月、その後3月にかけて感染が拡大していきました。2020年3月13日に新型コロナウイルス感染症が新型インフルエンザ等対策特別措置法の対象に追加され、鳥の博物館は3月24日から休館しました。2020年4月7日に千葉県を含む7都道府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には対象地域が全国となりました。鳥の博物館も例外ではなく、感染拡大防止対策のため、情勢に合わせて休館期間を少しずつ延長し、2020年6月9日から開館しました。突然の休館を余儀なくされ、開館できるまでにはどの位の時間があるのかわからないまま、コロナと共存するための開館に向けた準備を行いました。また、鳥の博物館はメンテナンス日の設定がないため、来館者がいないこの期間を有効に使い、普段時間をかけて行うにはなかなか難しい展示のメンテナンスを行いました。



展示物のメンテナンス



手洗い推奨のイラスト  
我孫子市の鳥オオバンが手を洗うイラストを描きました

人と人の繋がりの再開

展示室で活動する展示交流スタッフ（ボランティア）は、コロナの影響を受け2020年の3月末から2023年の3月末までの約3年間活動を休止しました。突然の活動休止から3年もの時間が経ってしまったため、活動内容を思い出すための研修を行うなど、準備期間を経て2023年4月の中旬から活動を再開しました。展示物や学芸員と来館者とを繋ぐ、橋渡しの役目を担う展示交流スタッフは、室内で来館者と近距離で接することが多く、活動を再開させるまでには野外で活動するスタッフよりも時間を要しました。来館者と展示交流スタッフの、どちらにとっても安全な交流でなければなりません。振り返ってみると、活動再開のタイミングを図って、準備しては駄目になりの繰り返しでした。休止期間中もメールでやり取りをすることで、展示交流スタッフの元気な様子がわかり、日頃のメールを使った連絡手段が役に立ちました。



展示交流スタッフの研修

2023年3月29日に活動再開前の研修を行いました



コロナ禍での夏イベントの様子

2020、21年は短時間でできる簡単な工作を実施しました

2023年3月13日からマスク着用は個人の判断が基準となり、5月8日付けで新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行されました。多くの人にとって、コロナと付き合いながらも、通常の生活に戻って行こうとするきっかけになったのではないのでしょうか。鳥の博物館ではコロナによって休止していた事業や展示場所を段階的に再開してきましたが、今年度は最後になった人と人の繋がりができる事業を次々と再開させ、ほぼ以前と変わらない事業内容に戻りました。

緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスに怯えるような時期を経て、正しく怖れながら生活することが当たり前になりました。この生活の中で思いがけない学びもありました。それは相手と距離をとりながらも言葉で伝える工夫の仕方です。例えば、工作の手順を説明する際に、以前は参加者の工作を手にとって説明することもできましたが、コロナ禍では難しいことでした。物を共有して触らなくても伝わるよう、状況に応じて判断する瞬間が多く、よい経験になりました。

伝える力が試される時

全国の博物館が次々に臨時休館した時、博物館や自分が持つ力を試されているような気がしました。2020年1月に発行した『あびこ鳥だより』の中で私は「その場の状況に合わせて、臨機応変に対応することが必要です」と伝える力について書いています。コロナ禍の3年はまさに伝える力を鍛えられた期間でした。正しい情報を持っていても、それを相手にとってわかりやすく、正しく伝える手段を持たなければ、自己満足で終わってしまいます。自分の考えを論理的に明確にして、表現し伝える力は博物館における教育普及活動の場で重要な力です。コロナ禍での経験も生かしつつ、利用者の生涯学習の一助となれるよう、私も成長していきたいと思えます。



大きなダチョウなら遠くからでも見やすく、お互いに距離をとりながらも楽しめます



最近のイベントの様子

暑いことも相まってマスクをしていない方も多くなってきました

科名	種名	個体数（羽）							総計
		12月	1月	2月	3月	4月	5月		
カモ科	オカヨシガモ	32	10	6	5	1		54	
	ヨシガモ	1	1	1				3	
	ヒドリガモ	426	288	170	6			890	
	ヒドリガモxアメリカヒドリ				1			1	
	マガモ	931	767	428	29	1		2156	
	カルガモ	725	565	332	179	55	16	1872	
	マガモxカルガモ			1				1	
	オナガガモ	191	45	24				260	
	トモエガモ	12						12	
	コガモ	637	278	173	216	154		1458	
	ホシハジロ	20	2	6				28	
	キンクロハジロ			2				2	
	スズガモ						2	2	
	ホオジロガモ		1					1	
ミコアイサ	14	14	9				37		
カイツブリ科	カイツブリ	23	30	32	26	12	12	135	
	カンムリカイツブリ	90	44	23	19	1		177	
	ハジロカイツブリ	18	11	5				34	
ウ科	カワウ	85	33	73	85	45	51	372	
サギ科	ゴイサギ	24					2	26	
	アカガシラサギ		1		1			2	
	アオサギ	29	9	24	22	3	21	108	
	ダイサギ	14	9	2	4	7	3	39	
	コサギ	14	12	11	10	4		51	
クイナ科	クイナ	1	1		1			3	
	ヒクイナ		1	2				3	
	バン	4	1	2		2		9	
	オオバン	102	77	112	111	26	5	433	
シギ科	タシギ		1	2	2			5	
	イソシギ					2		2	
カモメ科	ユリカモメ	80	2					82	
	セグロカモメ	2	2	1	4			9	
	ニシセグロカモメ		1	1	1			3	
	コアジサシ						4	4	
ミサゴ科	ミサゴ	3	2	3	1			9	
タカ科	トビ	2			1	1	1	5	
	チュウヒ			1				1	
	サシバ					1		1	
カワセミ科	カワセミ	5	3	3	3	3		17	
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	1						1	
カラス科	ハシボソガラス	1	2	3	1	1		8	
12科	39種*	3487	2213	1452	728	319	117	8316	

外来種	コブハクチョウ	8	12	17	32	22	16	107
-----	---------	---	----	----	----	----	----	-----

\*種数の集計からは外来種、雑種、種不明は除外



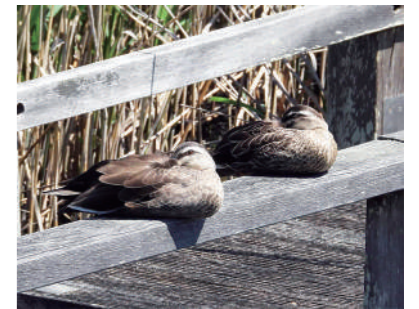
アカガシラサギ（1月）



コガモ（2月）



カワセミ（3月）



カルガモ（4月）



ゴイサギ（5月）

調査日：2022年12月15日、2023年1月20日、2月22日、3月15日、4月26日、5月30日